

横浜市立永田小学校

人とのかかわりを大切にする子 自分で考え行動する子 心身ともにたくましい子



学校だより 7月号

令和5年6月30日（家庭数配付）

毎年の積み重ね！

校長 足立 渉

休み時間に雨上がりの校庭で遊ぶ子どもたちの様子を見ると、低学年の児童によく声をかけられます。2年生からは「校長先生、雨で水をたっぷりもらったから僕のピーマンに花が咲いたよ。」や「ピーマン今日持って帰るよ、お母さんに見てもらおう！」など。1年生からは、「校長先生、私の朝顔が大きくなったよ。」や「僕のふうせんかずらを見て！」「昨日までの雨で、とても大きくなったよ。」など。梅雨でじめじめした日が続いていますが、子どもたちは育てて



いる野菜や花のことを気かけながら、雨降りも植物の成長のために必要と喜んでいる様子です。私も「朝から雨で憂鬱だな。」と後ろ向きに考えるのではなく、前向きに考えていこうと子どもに教えられた気がします。早いもので7月になります。夏本番が近づいています。After コロナとなった初めての夏、地域の夏祭りも開催されると聞いています。ぜひご家族で参加し、あらためて永田のまちのよさを共有できるといいですね。

いよいよ3年ぶりに本格的に各学年の水泳学習が始まりました。私もできるときは指導補助として授業に参加しています。プールサイドでの「準備運動」、子どもたちの言う「地獄のシャワー」、そして「水慣れ」後の「主運動」という一連の学習の流れを見ると、ようやく通常の水泳学習に戻ってきたという感じがします。多くの子どもたちも、喜んで学習していました。

さて、第一回目の6年生の水泳学習に参加した時のことです。水泳学習は泳力別に指導するので、最初の時間は水慣れ後一人ひとりの泳力を測ります。指導者の「よおい、ドン」の掛け声の下、子どもは一斉に泳ぎ始めます。「〇〇さん、20秒15。」25m泳げる子どもにはタイムを伝えます。泳げない子どもは「△さん、13m。」というように、泳げた距離を伝えます。今の泳力を知ることで、それぞれがこれからの水泳学習の目標を立て、次時からの学習に臨めるようにします。私はタイムを測る手伝いをしていましたが、「25m泳げる子が少ないこと」に気が付きました。初めは、「え、永田の子ってこんなに泳げないの？」と思いましたが、そうではありません。6年生は3年～5年までの水泳を、コロナ禍でほとんど経験できていない！なので、泳げない子どもが多いということがわかりました。改めて、**毎年毎年積み重ねていく学習の大切さ**を実感するとともに、コロナ禍のため3年間できなかったものの大きさを実感しました。今からどれだけできるかはわかりませんが、少しでも経験できるように今年度から夏季水泳教室も始めます。多くの児童の参加をお待ちしております。今月もよろしくお願いいたします。